

# 受託研究 三宅村郷土資料公開・保存事業

期間：2023 年 6 月 14 日～2024 年 3 月 31 日

〔所員〕 新垣夢乃

## 三宅島郷土資料館所蔵民具の整理・調査

新垣 夢乃

三宅村からの受託研究は、2016 年度より継続的に実施されている。本受託研究では、2022 年度からは三宅島郷土資料館が所蔵する民具の目録作成をめざす整理・調査を実施している。

2022 年度は、整理・調査の対象となる民具を確定する作業が行われた。2023 年度は、前年度の作業を継続しつつ、個々の民具の状態確認と写真撮影を実施した。

### 1. 調査体制と準備作業

2023 年度の整理・調査の体制は下記の通りである。

調査者：新垣夢乃（神奈川大学日本常民文化研究所）越智信也（同左）

小野麻人（テイケイトレード株式会社埋蔵文化財事業部）

呉珂（歴史民俗資料学研究科博士後期課程）

茶木清明（テイケイトレード株式会社埋蔵文化財事業部）

越智、呉は 2022 年度から継続しての参加、小野、茶木、新垣が 2023 年度から新たに加わったメンバーである。小野と茶木はテイケイトレード株式会社埋蔵文化財事業部の調査員であり、豊富な文化財調査の経験を有することから 2023 年度より調査パートナーとして参加いただいた。



写真 1 大型民具の写真撮影（越智信也撮影）

三宅島郷土資料館での現地調査に先立って、2023年10月9日、11月28日、2024年1月9日に状況共有、作業の進め方、準備する機材について打ち合わせを実施した。

## 2. 調査成果

2024年1月16日～19日の日程で三宅島郷土資料館にて現地調査を行った。調査では、三宅島郷土資料館所蔵民具として調査対象となる資料に漏れがないかの確認をしつつ、資料の搬出と撮影、整理を実施した。さらに撮影漏れや撮影ミスのある資料を特定し、再撮影も実施した。

今回の現地調査を通じて、調査対象となる資料の確定と各資料の撮影が完了した。この成果を基に、カウンターパートとして協力いただいている三宅島郷土資料館職員の中込氏に対して、調査の概要報告と意見交換を行った。さらに、用途が不明な資料に関する情報収集の依頼と今後の調査予定日程の検討も実施した。

現地調査終了後、調査対象として確定した資料の資料番号と写真データをExcelでリスト化する作業を行い、リスト化は完了している。

## 3. 2024年度に向けて

2023年度の調査の進展により、2024年度は法量の計測や資料カード作成といった次の段階の調査に取り掛かることができるようになった。2024年度も継続して調査を進める計画である。



写真2 大型民具の確認作業（越智信也撮影）



写真3 民具写真の確認作業（越智信也撮影）



写真4 民具の写真撮影（越智信也撮影）

## ■ 2023年度の活動

○三宅島郷土資料館の民具整理調査 2024年1月16日～19日 三宅島郷土資料館 新垣夢乃・越智信也、小野麻人・茶木清明（テイケイトレード株式会社）、呉珂（大学院生）